

カジノ・「大阪都」より、

くらし応援

防災対策でしょ!

昨年6月の北部地震(震度6弱)や9月の巨大台風など被害は甚大でした。今後、南海トラフ地震・津波や上町台地直下型地震、さらに、地球温暖化により台風の巨大化やゲリラ豪雨が危惧されています。府民の願いは防災対策と被災者への支援の強化です。



これが経済対策です!

老朽 水道管・下水管・橋、ブロック塀 リニューアル公共工事を!

水道管の老朽化率

大阪府下平均 **28.6%** 大阪市 **44.9%** 全国 **13.6%**

大規模災害に備えライフラインの整備と職員体制(被災支援を含む)の確保が求められています。水道管の老朽化がすすむ大阪で、ライフラインのリニューアルや建物の耐震化などを公共工事で行うことは経済対策としても重要です。水道法に規定されている国の責務(第2条の2第2項)にもとづき、国に財政的支援を求めましょう。

直下型地震被害想定概要 (2006年10月公表)

	上町断層帯 (A・北中部)	上町断層帯 (B・南部)	生駒断層帯	
地震の規模	M7.5~7.8	M7.5~7.8	M7.3~7.7	
建物 全半壊棟数	全壊 363千棟 半壊 329千棟	全壊 219千棟 半壊 213千棟	全壊 275千棟 半壊 244千棟	
死傷者数	死者 13千人 負傷者 149千人	死者 6千人 負傷者 91千人	死者 10千人 負傷者 101千人	
ライフライン	停電	200万軒	60万軒	89万軒
	ガス供給停止	293万戸	128万戸	142万戸
	電話不通	91万加入者	42万加入者	45万加入者
	水道断水	545万人	372万人	490万人

大阪府ホームページより抜粋

南海トラフ地震の被害予測 (大阪府・2017年12月公表)

項目	被害額(兆円)
建物被害	20.1
ライフライン・インフラ施設被害	1.8
その他公共土木施設	0.9
土地の損壊・喪失(農地)	0.0
災害廃棄物処理	0.4
小計	23.2
生産・サービス低下による影響	5.6
合計	28.8兆円

※農地20億円

2010年度大阪府GDP(実質)は約37兆円

30年以内の 震度6弱以上の確率 **56%**

政府の地震調査委員会が昨年6月26日、今後30年以内に震度6弱以上の揺れが起きる確率(全国地震動予測地)を公表、大阪市は56%でした。また、津波を伴う南海トラフ地震は30年以内に70%~80%といわれており、住民のいのちと財産を守るため地震・津波対策はまさに急務です。

カジノのための 万博でいいの?!

2025年の万博開催前にカジノ開業をめざす大阪府・市、カジノと万博がセットでは困ります。また、会場が**災害に弱い人工島・夢洲**、大きな集客施設を建設することがそもそも無謀です。

2024年カジノ開業?



マカオにあるラスベガス・サンズ所有のカジノ施設 (wikipedia「ラスベガス・サンズ運営施設」より)

夢洲

カジノ

2025年万博会場

EXPO2025-OSAKA HPより

大阪府・ 市町村の仕事は

住民のいのちと財産を 守ることが最優先です